

◎昭和 44 年度第 4 回理事会議事録 (44.9.26) 出席者：柳沢会長，尾之内，米谷，長浜の各副会長，羽田専務理事，内田，小川，大地，岡田，倉田，後藤，境，末沢，田中，高橋(国)，比留間，星，南，毛利の各理事。議事録署名理事の決定：柳沢会長，羽田専務理事，高橋(国)理事。A. 報告事項：つぎの各項につき羽田専務理事より報告があり了承された：1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会その他報告。4) 土木学会昭和 44 年度全国大会について。B. 協議事項：1) 財務委員会(仮称)設置要綱案について：羽田専務理事より説明があり，質疑応答の結果，次回理事会で再検討することになった。2) 土木学会論文の部門別分類について：資料により羽田専務理事から，現行の 4 部門の分類は実情に合わない点があり数年前から問題になっていたが，論文集編集委員会に検討を依頼した結果，下記のように 5 部門分けが考えられる旨回答があり，土木学会論文賞選考委員会でも，今年からこの分類にしたがうことになった旨説明があり，質疑応答の結果了承。

論文部門別分類

- 第 1 部門：応用力学・構造力学・構造工学・橋梁一般・鋼橋等
- 第 2 部門：水理学・水文学・河川工学・港湾工学・海岸工学・発電水力・衛生工学等
- 第 3 部門：土質工学・基礎工学・岩盤力学等
- 第 4 部門：道路工学・鉄道工学・交通計画・都市計画・国土計画・測量等
- 第 5 部門：土木材料・土木施工法・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学等

注：内容により部門相互に関連するものはそれぞれの内容に関連する部門で取扱うこととする。

3) 昭和 44 年度朝日賞(文化賞)の推薦について：資料により羽田専務理事より説明があり，東名高速道路を推薦することになった。4) 委員の委嘱について

① 表彰委員会

委員長 柳沢 米吉 三井共同建設コンサルタント(株)

委員 尾之内由紀夫 建設省  
 国分 正胤 東京大学  
 米谷 栄二 京都大学  
 長浜 正雄 国 鉄  
 高橋国一郎 建設省  
 大地 羊三 法政大学  
 鈴木 秀昭 国 鉄  
 関 慎吾 日本大学  
 横田 周平 (株)東京鉄骨橋梁製作所

伊吹山四郎 建設省  
 中条隆一郎 国 鉄  
 北郷 繁 北海道大学  
 多谷 虎男 東北大学  
 毛利 正光 名古屋大学  
 畑中 元弘 神戸大学  
 合田 健 京都大学  
 南 一良 中国電力(株)  
 榎 東一郎 九州大学  
 幹事 萩原 浩 建設省  
 笠川康一郎 運輸省

② 論文賞選考委員会

委員 大久保喜市 運輸省  
 岡田 清 京都大学  
 高田 孝信 東洋大学  
 樋口 芳朗 国 鉄  
 三木五三郎 東京大学(生研)  
 吉川 秀夫 東京工業大学  
 山岡 勲 北海道大学  
 坂本 龍雄 東北大学  
 喜内 敏 金沢大学  
 後藤 尚男 京都大学  
 前田 幸雄 大阪大学  
 網干 寿夫 広島大学  
 上田年比古 九州大学  
 森 茂 自 営  
 林 泰造 中央大学  
 岩垣 雄一 京都大学  
 久保慶三郎 東京大学(生研)  
 岩井 重久 京都大学  
 伊藤 剛 新潟大学  
 伊吹山四郎 建設省  
 長山 泰介 日本原子力研究所  
 国分 正胤 東京大学  
 幹事 合田 良実 運輸省  
 小林 正凡 法政大学

③ 吉田賞選考委員会

委員 猪股 俊司 日本構造橋梁研究所  
 岡田 清 京都大学  
 久保 義光 興和コンクリート(株)  
 河野 通之 日本交通技術(株)  
 国分 正胤 東京大学  
 後藤 幸正 東北大学  
 仁杉 巖 極東鋼弦コンクリート振興(株)  
 水越 達雄 東京電力(株)  
 水野 高明 九州大学名誉教授  
 妻輪健二郎 建設省  
 山田 順治 日本セメント(株)  
 吉越 盛次 電源開発(株)  
 横道 英雄 北海道大学  
 村田 二郎 東京都立大学  
 玉置 脩 首都高速道路公団  
 柳田 力 建設省  
 田村 浩一 国 鉄

④ 田中賞選考委員会

委員 平井 敦 東京大学名誉教授  
 友永 和夫 (株)横河橋梁製作所  
 猪股 俊司 日本構造橋梁研究所  
 奥村 敏恵 東京大学  
 小西 一郎 京都大学  
 今 俊三 東海大学  
 田島 二郎 国 鉄  
 田中 五郎 (株)横河工事  
 多田 安夫 建設省  
 西田 達夫 国 鉄  
 深谷 俊明 日本交通技術(株)  
 堀 武男 富士製鉄(株)  
 村上 永一 日本道路公団  
 村上 正 九州大学

安宅 勝 大阪大学名誉教授  
 幹事 阿部 英彦 国 鉄  
 明石 重雄 (株)横河橋梁製作所  
 伊藤 学 東京大学  
 沢井 広之 建設省

⑤ 文献調査委員会

委員 藤田 昌一 東京都

⑥ 海外活動委員会

委員長 太田尾広治 日本港湾コンサルタンツ顧問  
 委員 岡部 保 運輸省  
 長尾 満 建設省  
 松井 芳明 農林省  
 中条隆一郎 国 鉄  
 新家 義雄 海外技術協力事業団  
 平井 敦 東京大学名誉教授  
 吉越 盛次 電源開発(株)  
 宇野沢亮之助 大成建設(株)  
 幹事 森平 倫正 運輸省  
 萩原 浩 建設省  
 金津 昭治 農林省  
 藤岡 義香 国 鉄  
 岡田 靖夫 外務省  
 徳丸 正哉 海外技術協力事業団  
 村井 俊治 東京大学(生研)  
 楠本 明 電源開発(株)  
 大橋 一隆 大成建設(株)  
 利岡 学 アジア航測(株)

⑦ 耐震工学委員会

委員 池田 甫 日本道路公団

⑧ 岩盤力学委員会

委員 立石 俊一 建設省

⑨ 橋梁構造委員会

委員兼幹事 青柳 史郎 長大橋設計センター  
 沢井 宏之 建設省  
 池田 尚治 首都高速道路公団

⑩ 海洋開発委員会

委員 本間 仁 東京大学名誉教授  
 堀川 清司 東京大学  
 服部昌太郎 中央大学  
 宇野木早苗 東海大学  
 岩垣 雄一 京都大学  
 光易 恒 九州大学  
 永井荘七郎 大阪市立大学  
 岡部 保 運輸省  
 鶴田 千里 運輸省  
 竹内 良夫 運輸省  
 久田 安夫 運輸省  
 長尾 満 建設省  
 帯 猛 建設省  
 浅井新一郎 建設省  
 永盛 峰雄 建設省  
 福地 辰馬 農林省  
 浅間 敏雄 日本鉄道建設公団  
 白石 直文 日本テトラポット(株)  
 倉田 進 八幡製鉄(株)  
 石黒 健 富士製鉄(株)  
 片山 彬 東亜港湾工業(株)  
 浅見 重夫 大成建設(株)  
 田畑 和夫 日本コンサルタンツ(株)  
 中川 雅央 中川防蝕(株)  
 赤木 正典 技研興業(株)  
 福田 秀夫 鹿島建設(株)  
 岸 力 北海道大学  
 藁田 耕造 気象庁

⑪ 沈埋トンネル小委員会

委員 立石 俊一 建設省

⑫ 終局強度小委員会

委員兼幹事

松本 勇 東京大学

⑩ 企画委員会

幹事 高柳 琢馬 京都大学

⑪ プレスキャストコンクリート杭に関する

研究小委員会

委員長 国分 正胤 東京大学

委員 伊東 茂富 建設省

池田 康平 日本鉄道建設公団

岡田 清 京都大学

岡村 甫 東京大学

小林 正几 法政大学

鈴木 俊男 東京都

玉野 治光 首都高速道路公団

樋口 芳明 国鉄

本田 修一 国鉄

松本 嘉司 東京大学

三浦 一郎 明星大学

町田 篤彦 (株)大林組

吉田 巖 建設省

尾坂 芳夫 国鉄

福島 善清 日本コンクリート工業(株)

杉木 六郎 日本コンクリート工業(株)

東 正夫 近畿コンクリート工業(株)

高野 民夫 北海道コンクリート工業(株)

津野 和男 首都高速道路公団

⑫ 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会

委員長 寺島 重雄 北海道大学

委員 松本 順一郎 東北大学

杉木 昭典 東京大学

南部 祥一 国立公衆衛生院

遠藤 郁夫 早稲田大学

小林 三樹 北海道大学

宗宮 功 京都大学

新田 忠雄 水産庁

高橋 和司 愛知県

鈴木 達彦 農林省

久保 赴 建設省

斎藤 次郎 建設省

柏谷 衛 建設省

松岡 正次 東京都

稲場 紀久雄 建設省

富樫 昭一 東京都

幹事

⑬ 昭和44年度河北潟干拓河口工事研究委員会

委員長 福田 仁志 東京大学名誉教授

本間 仁 東京大学名誉教授

岩堀 雄一 京都大学

堀川 清可 東京大学

鶴岡 健吉 鶴岡研究所

山田 伴次郎 宇都宮大学

田村 徳一郎 明治大学

幹事 中谷 強 農林省

茶谷 一男 農林省

池本 寅夫 農林省

石川 明 農林省

岡本 勇 農林省

黒須 靖 農林省

木下 昌之 農林省

北村 孝次郎 農林省

幹事補佐

中村 充 農林省

田仲 喜一郎 農林省

戸嶋 敏雄 農林省

加藤 和行 農林省

黒田 孝 農林省

佐野 征昭 農林省

⑭ 昭和44年度地震応答を考慮した橋梁下部構造の耐震設計に関する研究小委員会

委員長 岡本 舜三 東京大学

委員 沼田 政矩 国士館大学

高橋 龍太郎 中央大学

金井 清 日本大学

最上 武雄 東京大学

市原 松平 名古屋大学

河野 通之 日本交通技術(株)

福岡 正巳 建設省

白石 俊多 地下工事コンサルタンツ(株)

大地 羊三 法政大学

諏訪 彰 気象庁

池田 康平 日本鉄道建設公団

野口 俊郎 東京電力(株)

後藤 尚男 京都大学

林 聡 運輸省

山口 柏樹 東京工業大学

委員兼幹事長

久保 慶三郎 東京大学(生研)

西亀 達夫 国鉄

尾崎 寿 国鉄

山口 剛二 国鉄

樋口 芳明 国鉄

都 淳一 国鉄

島田 隆夫 国鉄

久保 村助 国鉄

幹事 玉野 治光 首都高速道路公団

小寺 重郎 八千代エンジニアリング(株)

勝又 護 気象庁

松本 嘉司 東京大学

吉田 巖 建設省

堤 一 電力中央研究所

栗林 栄一 建設省

長 尚 信州大学

安本 修一 東海大学

石原 研而 東京大学

田村 重四郎 東京大学

土田 肇 運輸省

佐藤 暢彦 東京大学

池田 甫 日本道路公団

丹羽 俊彦 国鉄

大橋 勝弘 国鉄

藤原 俊郎 国鉄

小林 芳正 国鉄

割沢 善雄 国鉄

土屋 歌 国鉄

佐々木 定 国鉄

川俣 淳 国鉄

林 康夫 国鉄

田村 浩一 国鉄

小森 博 国鉄

大植 英亮 国鉄

松本 英信 国鉄

原 恒雄 国鉄

◎各種委員会

(1) 沈埋トンネル小委員会 (44.8.18)

出席者: 大平委員長, ほか12名。

議事: 沈埋トンネル指針原案審議。

(2) トンネル会議実行委員会 (44.8.18)

出席者: 住友委員長, ほか9名。

議事: 第6回トンネル工学に関するシンポジウムについて。

(3) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会および見学会 (44.8.19~20)

出席者: 寺島委員長, ほか14名。議事:

1) 下水汚泥の農地還元について。2) 下水汚泥の海洋投棄について。3) 昭和43年度報告書の印刷出版について。

(4) 岩盤力学委員会第1分科会地質調査班打合せ(第8回)(44.8.20)

出席者: 堀主査, ほか5名。議事: 地質調査に関する解説書の執筆およびスケジュールにつき審議した。

(5) 土木年鑑編集委員会第2回幹事会(44.8.20)

出席者: 春日屋委員長, ほか5名。議事: 1) 経過報告。2) 補充原稿協議。3) 口絵写真の件協議。

(6) 岩盤力学委員会第3分科会(第9回)(44.8.21)

出席者: 林主査, ほか5名。議事: 1) 土木技術者のための岩盤力学(出版物)の改訂について。2) 岩盤力学に関する文献のとりまとめについて。3) 岩盤の現地試験結果のデータのとりまとめ。4) 今後の運営方法。

(7) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会(44.8.21~23)

出席者: 河野副委員長, 猪股主査, ほか10名。議事: プレストレストコンクリート設計施工指針改訂のため設計編の逐条審議を行なった。

(8) 土構造物の設計標準に関する研究委員会第3回幹事会(44.8.22)

出席者: 関係者17名。議事: 第1編基礎構造物の設計標準の原案につき審議した。

(9) トンネル会議論文委員会(44.8.22)

出席者: 伊吹山委員長, 島田, 西嶋の両主査, ほか8名。議事: 1) トンネル工事のシステム化 京大 太田氏説明。2) プログラムの訂正。3) 外国への推薦依頼状の検討。4) OECDの提出状況および催促状の検討。5) その他。

(10) トンネル示方書改訂にともなう

締結作業(44.8.22~23)出席者: 関係者5名。議事: トンネル標準示方書改訂版第3次原案取りまとめ作業。

(11) シールド工法小委員会第4分科会(44.8.23)

出席者: 西嶋委員長, ほか4名。議事: シールド指針第1次原案第4編について審議。

(12) 海岸保全施設設計便覧改訂小委員会編集委員会(44.8.23)

出席者: 久宝委員長, ほか5名。議事: 海岸保全施設設計便覧(改訂版)の正誤表を作成し, 原稿料等につき審議した。

(13) 論文集編集委員会第1部会(44.8.25)

出席者: 前田部会長, ほか9名。議事: 1) 前回第1部会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 部会長報告に関連して。5) その他。

(14) 岩盤力学委員会主査幹事会(44.

8.25) 出席者：北原幹事長，ほか3名。議事：1) 各分科会経過報告。2) 研究会開催について。3) 第6回岩盤力学に関するシンポジウム開催について。4) Rock Mechanics in Japan (英文)の土木学会関係の原稿のとりまとめについて。5) 論文賞選考委員会委員推薦について。6) 土木技術者のための岩盤力学(出版物)の改訂について。

(15) 海洋開発委員会幹事会 (44.8.25) 出席者：本間委員長，ほか9名。議事：海洋開発委員会の運営方針につき打合せを行なった。

(16) 会誌編集委員会 (44.8.26) 出席者：森委員長，ほか16名。議事：1) 経過報告。2) 新年号特集協議。3) 表紙デザイン審査。4) その他。

(17) トンネル工学委員会打合せ (44.8.26) 出席者：関係者7名。議事：ドイツ地下鉄視察団訪日につき打合せした。

(18) 終局強度設計小委員会幹事会 (44.8.26) 出席者：河野副委員長，ほか7名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 文献紹介。3) 今後のすすめ。

(19) 論文集編集委員会第4部会(計画・測量関係) (44.8.26) 出席者：鍛冶部会長，ほか3名。議事：1) 前回第4部会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 部会長報告に関連して。

(20) 海外活動委員会 (44.8.26) 出席者：太田尾委員長，ほか8名。議事：1) 第1回委員会報告に関連して。2) 委員会の活動方針について。3) 幹事会の構成について。4) 委員の追加。5) その他。

(21) 耐震工学委員会打合せ (44.8.27) 出席者：関係者9名。議事：動的解析法の目次案につき審議した。

(22) トンネル工学委員会打合せ (44.8.27) 出席者：関係者5名。議事：第6回トンネル工学に関するシンポジウムにつき打合せを行なった。

(23) シールド工法小委員会主査幹事会 (44.8.27) 出席者：西嶋委員長，遠藤副委員長，ほか4名。議事：シールド工法指針第1次原案に対する意見を基に審議検討。

(24) シールド工法小委員会主査幹事会 (44.8.28) 出席者：西嶋委員長，遠藤副委員長，ほか5名。議事：シールド工法指針第1次原案に対する意見を基に審議検討。

(25) 沈埋トンネル小委員会打合せ (44.8.28) 出席者：大平委員長，ほか5名。議事：沈埋トンネル指針原案審議。

(26) 土木計画学研究委員会幹事会 (44.8.28) 出席者：関係者7名。議事：

1) 前回幹事会の議決事項報告。2) 第4回土木計画学シンポジウムの主旨協議。3) その他。

(27) 土木計画学研究委員会 (44.8.28) 出席者：鈴木委員長，ほか9名。議事：1) 経過報告。2) 第4回土木計画学シンポジウムの件。3) その他。

(28) 耐震工学委員会第4回常任委員会 (44.9.1) 出席者：岡本委員長，ほか23名。議事：1) 講演；①応答スペクトルの性質についての考察 東京大学 伯野常任委員，②包括的な耐震計画の手法の現況について 建設省 栗林常任委員，③強震記録の特性検出について 東京大学 伯野常任委員，京都大学 土岐氏。2) 論文賞選考委員会委員推薦について。

(29) シールド工法小委員会主査幹事会 (44.9.1) 出席者：西嶋委員長，遠藤副委員長，ほか5名。議事：シールド工法指針第1次原案に対する意見を基に審議。

(30) シールド工法小委員会 (44.9.3) 出席者：西嶋委員長，遠藤副委員長，ほか18名。議事：シールド工法指針シールド工法小委員会における最終審議。

(31) 地震応答を考慮した橋梁下部構造の耐震設計の研究委員会幹事会 (44.9.4) 出席者：関係者22名。議事：1) 井筒の試験計画。2) 強制振動試験の準備計算。3) 動的解析例。

(32) トンネル工学委員会運営小委員会 (44.9.4) 出席者：住友委員長，ほか7名。議事：1) 西独地下鉄一行の日本視察団の件。2) トンネル工学委員会開催の件。

(33) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会分科会 (44.9.4) 出席者：関係者3名。議事：琵琶湖の将来水質に関する調査のうち，富栄養化の予測につき今年度の作業の運営方針につき打合せした。

(34) 琵琶湖の将来水質に関する小委員会分科会 (44.9.4) 出席者：岩井委員長，ほか5名。議事：1) 作業分担について。2) 作業方法について。3) 問題点の整頓。4) 野外調査について。

(35) 大学土木教育委員会第8回幹事会 (44.9.5) 出席者：山口幹事長，ほか4名。議事：大学土木教育の現状と改革の方向を探る座談会の開催について。

(36) 大学土木教育委員会準備会 (44.9.5) 出席者：樋口委員，百島委員，川口幹事長，ほか5名。議事：1) 土木再教育の問題点について。2) 同上座談会開催について。

(37) 会誌編集委員会誌54巻10号特集掲載座談会 (44.9.8) 出席者：森委

員長，ほか関係者6名。議事：1) 開会あいさつ。2) 座談会“土木材料今昔物語(仮称)”。3) その他。

(38) 第16回原子力土木技術委員会 (44.9.8) 出席者：左合委員長，ほか13名。議事：1) 第8回原子力総合シンポジウム開催について。2) 第7回理工学における同位元素研究会開催について。3) 動力炉安全基準専門部会について。4) 委員の交代等について。5) 講演「PCPVの現況について」東京電力 神谷美郎委員。

(39) トンネル会議論文委員会 (44.9.8) 出席者：伊吹山委員長，西嶋，大平の両主査，ほか11名。議事：1) OECD 質問書のとりまとめについて。2) 第6回トンネル工学に関するシンポジウムの件。

(40) 沈埋トンネル小委員会打合せ (44.9.9) 出席者：大平委員長，ほか4名。議事：沈埋トンネル指針原案審議。

(41) 海外活動委員会幹事会 (44.9.9) 出席者：太田尾委員長，ほか9名。議事：1) 委員長あいさつ。2) 幹事自己紹介。3) 幹事会の活動について。4) 委員長論文について。5) その他。

(42) 海外活動委員会 (44.9.9) 出席者：太田尾委員長，ほか6名。議事：1) 前回委員会報告。2) 幹事会報告。3) 委員長原稿について。4) その他。

(43) トンネル工学委員会 (44.9.10) 出席者：藤井委員長，ほか19名。議事：1) トンネル標準方書解説改訂版について。2) シールド工法指針について。3) 第5回トンネル工学に関するシンポジウムについて。4) 第6回トンネル工学に関するシンポジウムについて。5) ドイツ地下鉄一行の日本視察旅行について。6) OECD 質問書について。

(44) 文献調査委員会 (44.9.10) 出席者：新谷委員長，ほか14名。議事：1) 会誌54巻11号登載抄録について。2) 紹介記事について。3) 解説記事について。4) 文献目録および担当雑誌について。

(45) 会誌編集委員会書評小委員会 (44.9.10) 出席者：石原委員長，ほか3名。議事：1) 経過報告。2) 受付図書審査。3) その他。

(46) 耐震工学委員会打合せ (44.9.11) 出席者：関係者8名。議事：構造物の地震応答解析法の目次・項目案につき検討した。

(47) 昭和44年度第1回地震応答を考慮した橋梁下部構造の耐震設計に関する研究委員会 (44.9.11) 出席者：岡本委員長，ほか30名。議事：1) 井筒の試験計画。2) 東京電力のコンクリートブロック振動試験。3) 井筒の土圧測定結果。4)

現地の土のバネ定数。5) 井筒の強制振動準備計算。

(48) 論文集編集委員会第4部会(材料・施工関係)(44.9.11)出席者:関係者5名。議事:1) 前回第4部会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 部会長会報告に関連して。5) その他。

(49) ずい道の合理的設計に関する研究小委員会幹事会(44.9.12)出席者:関係者9名。議事:覆工強度の模型実験計画について打合せた。

(50) 昭和44年度第1回河北潟干拓河口工事研究委員会(44.9.13)出席者:福田委員長,ほか22名。議事:1) 電子計算機による河北潟の総合水理計算について。2) 現地視察による意見。

(51) 視聴覚教育委員会選定映画審査会(44.9.13)出席者:綾幹事長,ほか9名。議事:港湾関係の映画4本の審査を行ない「津波とたたかい」第2建選を選定した。

(52) 視聴覚教育委員会映画・スライド調査小委員会(44.9.13)出席者:古泉委員長,ほか3名。議事:官公庁,業界等に送ったアンケートの整理をパンチカードにより行ない,調整作業を行なった。

#### ◎その他

(1) 支部幹事長会議(44.8.25)出席者:幹事長(北海道)山岡,(東北)浅間,(関東)増村,(中部)打田,(関西)岡田,(中国・四国)高木,事務局(北海道)山本,(東北)比佐,(関東)菱田,(中部)堀江,市橋,(関西)坂上,(中国・四国)作沢,本部 国分副会長,羽田専務理事。議事:1) 全国大会につい

て。2) 支部の要望について。3) その他。

(2) H. Rouse 教授特別講演会(44.8.27)

場 所:土木図書館講堂

参加者:約40名

題 目:The Bernoulli Theorem

(3) 岩の力学研究連合委員会幹事会(44.8.28)出席者:関係者8名。議事:1) 経過報告。2) 国際岩の力学会(I.S.R.M.)について。3) Rock Mechanics in Japan(英文)のとりまとめについて。

(4) 第2回土木計画学講習会

東 京(44.8.28~29)

場 所:土木図書館講堂

大 阪(44.9.4~5)

場 所:大阪科学技術センター401号室

出席者:東京115,大阪106名

講 師:5名

(5) 日本学術会議構造工学連絡委員会橋梁・構造工学分科会(44.9.10)出席者:仲委員長,ほか7名。議事:1) 前回分科会議事録の確認。2) 第16回橋梁・構造工場研究発表会開催について。3) 欧文論文集の件。4) I.A.B.S.Eの件。

### 支 部 だ よ り

#### ◎関西支部

(1) プレートガーダーの座屈に関する研究発表会(44.8.30,大阪科学技術センター)

主 催:関西橋梁鉄骨溶接研究会

後 援:土木学会関西支部・溶接学会  
関西支部

題 目:4題

参加者:160名

(2) コンクリート用化学混和剤に関する講習会(大阪会場)(44.9.3,大阪科学技術センター)

主 催:日本材料学会・同名支部

協 賛:土木学会関西支部,ほか16学協会

題 目:5題

参加者:319名

(3) 第2回土木計画学講習会(大阪会場)(44.9.4~5,大阪科学技術センター)

主 催:土木学会土木計画学研究委員会

後 援:土木学会関西支部

題 目:5題

参加者:106名

(4) Cheung 教授講演会

9月12日開催予定の本講演会,講師の都合により中止となり,参加者各位に多大のご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

(5) 第2回見学会(日本万国博覧会建設工事見学会)(44.9.19)

見学先:日本万国博覧会協会万博会場建設工事

参加者:123名

参加費:400円

(6) 常任幹事会(第3回)および全国大会実行委員会準備会(第3回)(44.9.24,好文倶楽部)出席者:岡田幹事長,ほか13名。

(7) 第40回騒音振動委員会(44.9.22,好文倶楽部)出席者:関係者7名。

### 編 集 後 記

1969年も残り少なくなり,スモッグでどんよりとした東京の街にも黄色い落葉が舞っています。東大の「安田城」攻防戦に明け,大学法案の強行採択でクライマックスに達した大学紛争も,曲がりなりにも収束の方向に向っているようです。この際大学の関係者ばかりでなく,国民全部が教育のあり方についてじっくり考え,問題の根源にあるものを見つけて,できるだけ修正していくよう努力しなければならないということが痛切に感じられます。われわれ土木技術者もこの義務から免れることはできないでしょう。第一歩としてより身近な,土木技術者の学校教育をどうするか,社会に出てからの教育をどうするかの問題に真げんにとり組んでいかなければならないと思います。このような時に中心となるのはやはり土木屋の共通の広場土木学会をおいて他にないでしょう。しかしそのような機能を果たす上で学会は今ままで十分でしょうか?

さらに新しい世紀に向う土木界の発展のために学会は何をなすべきでしょうか? これらを検討するために学会に企画委員会が発足したことは会員の皆様ご承知のことと思います。本号では同委員会による「若い世代からみた土木界のあり方」という座談会が送られます。

この中で「学会誌は,会員の唯一の情報交換の場であり,どんな苦勞をしても立派な学会誌を出すことが学会の土木界に対する義務である」と述べられています。いまさらのようにわれわれ編集委員の責任の重さを感じるとともに,力の至らざるのを恥じております。もちろん学会誌という性格上,一般商業誌とは違った制約も受けませんが,少しでも会員の皆様に親しんでいただけるものになければなりません。来年早々には,広く皆様のご意見ご批判を戴くための調査を計画していますので,アンケート解答者に当られた方々を始め多くの会員の方々のご協力をお願い致します。(横山義雄・記)